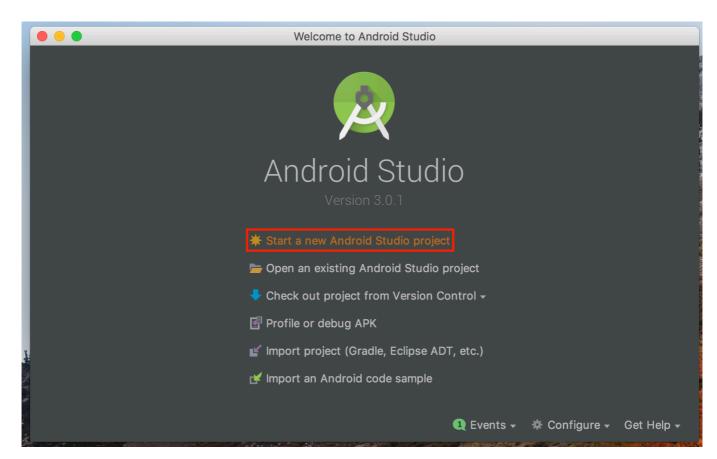
Android Studio 開発

Projectの作成

1. Android Studioを起動、スタートメニューより Start a new Android Studio project を選択。



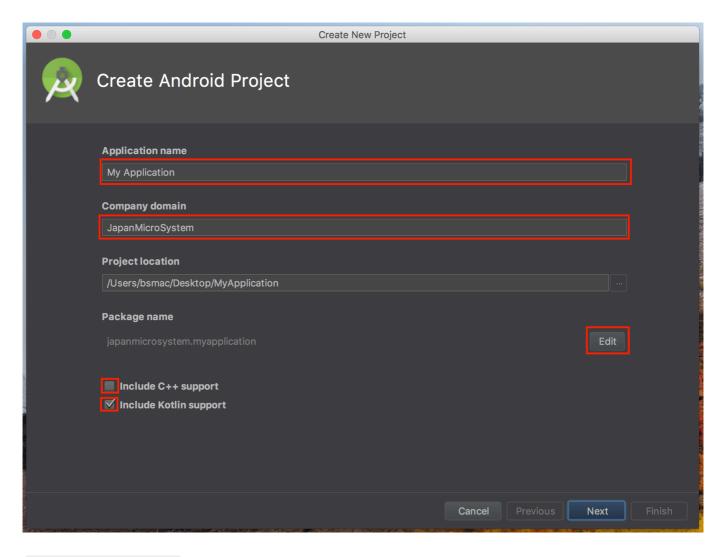
2. アプリケショーン名 Application name

ドメイン名 Company domain

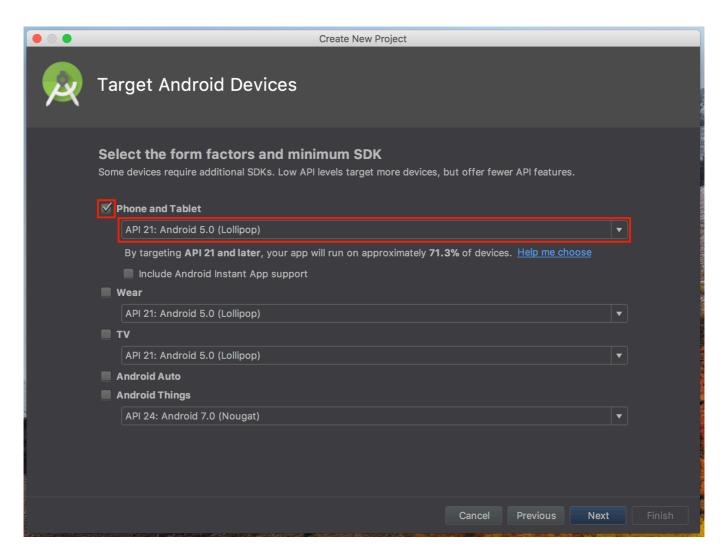
パッケージ名 Package name

を入力し、C++またはkotlinでの開発を行う場合は開発言語にチェックを入れる。

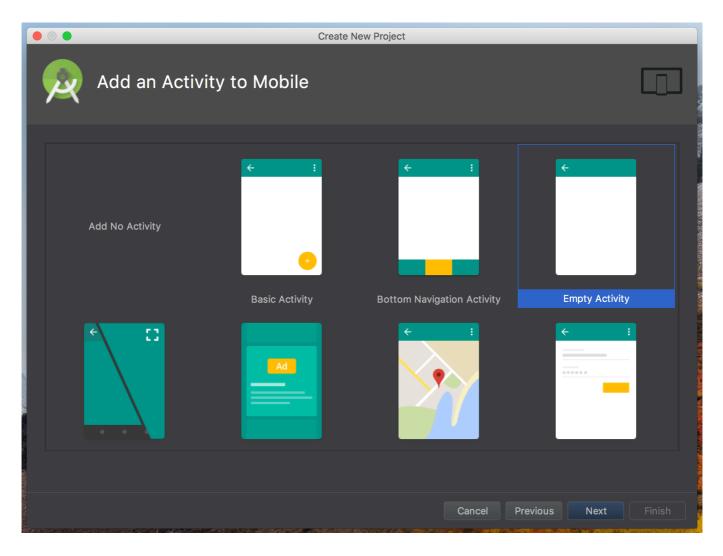
Java開発の際にはチェック不要



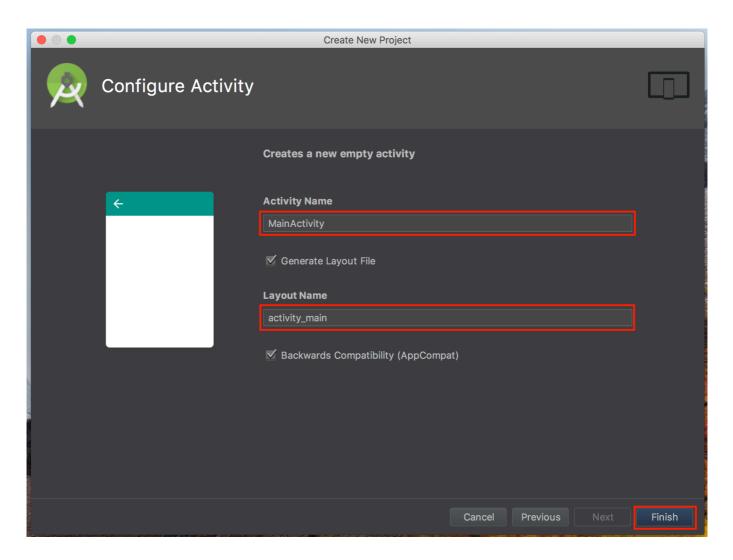
3. Phone and Tablet にチェックを入れ、サポートするOSバージョンの最低値を選択。



4. アプリケーションの画面テンプレートを選択。



5. Main画面(以降:**MainActivity**)及びMainActivityのLayoutファイルの名前を設定。

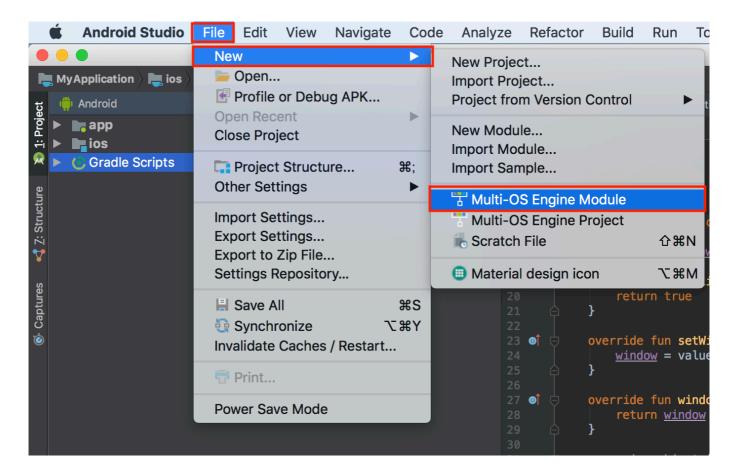


6. Finishを押すとProjectが作成され、GradleがBuildされる。

iOS用Moduleの作成

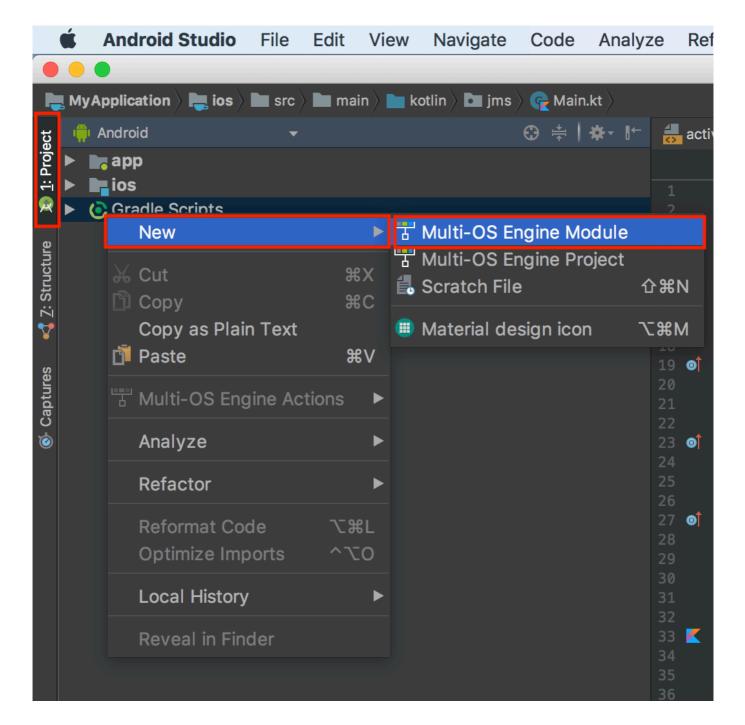
1. Moduleを追加するProject上で

File -> New -> Multi-OS Engine Module



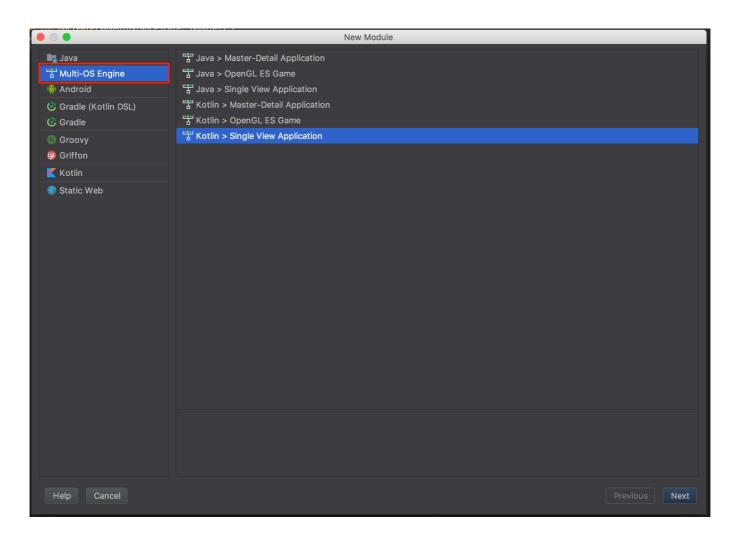
または

Projectルートで右クリック New -> Multi-OS Engine Module を開く



2. Multi-OS Engine のタブよりJavaまたはKotlinのApplicationスタイルを選択して Next

Applicationスタイルの詳細についてはXcode開発参照



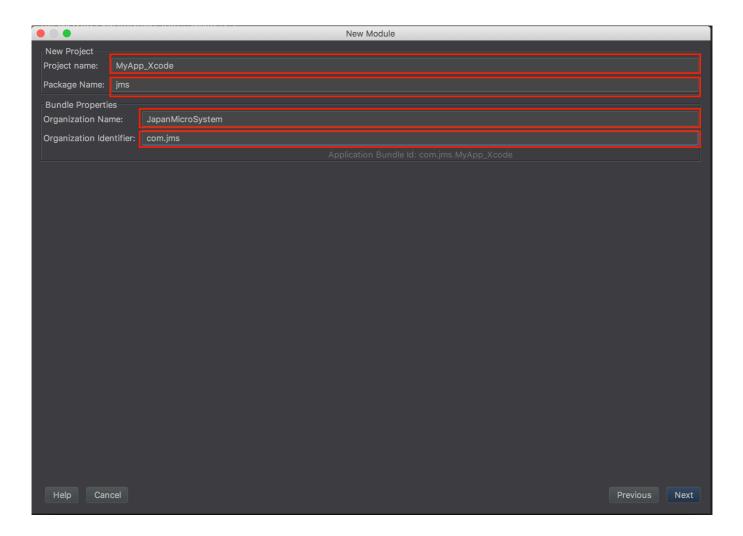
3. XcodeProject名 Project name

パッケージ名 Package name

会社名: Organization Name

アプリID: Organization Identifier

を入力し、Next

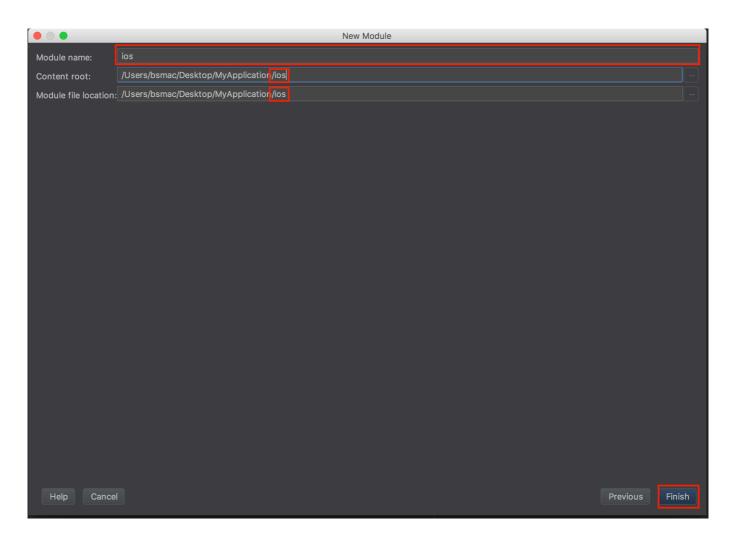


4. Android StudioでのiOS Module名 Module name

Gradleのディレクトリ Contents root

Moduleのディレクトリ Module file location

を選択し、「Finish



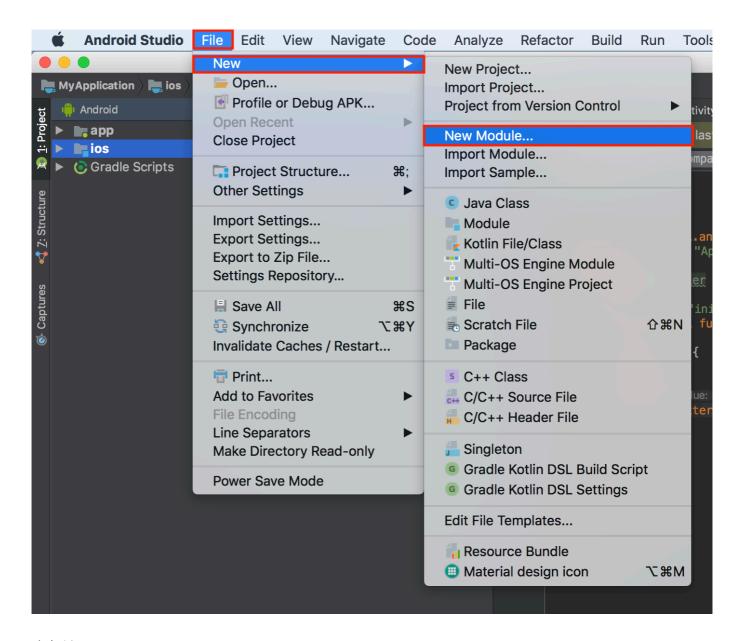
5. iOS Moduleが作成され、Gradleの同期を要求されるので

Sync Now を押し、同期を実行する。



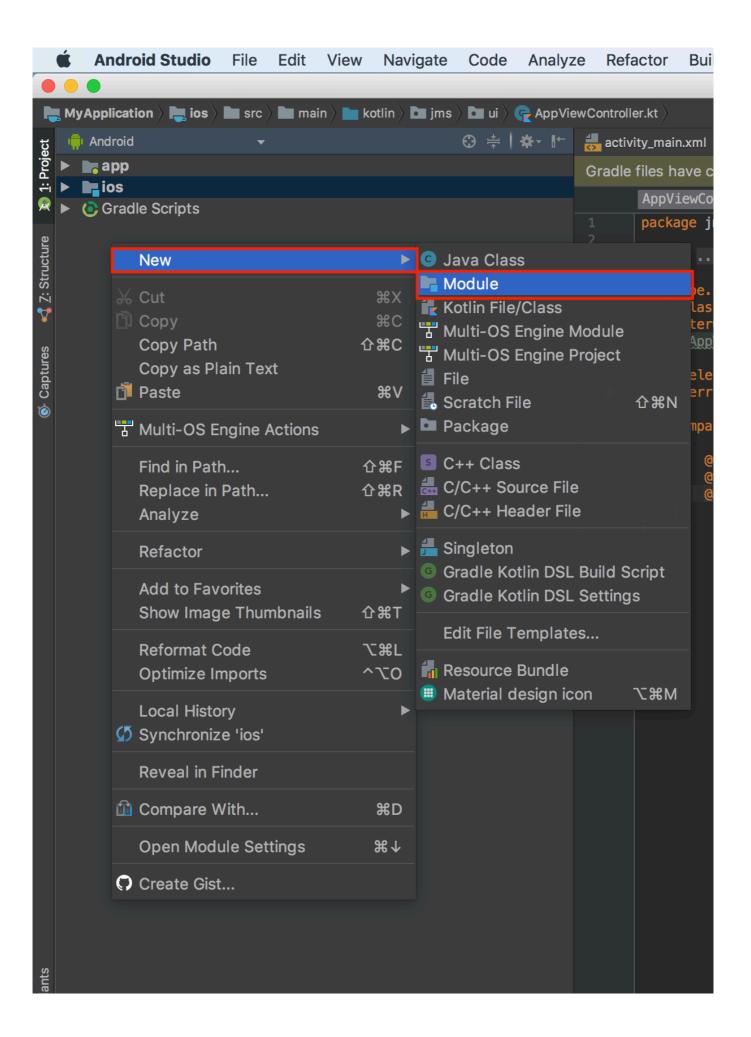
共通Moduleの作成と追加

1. File -> New -> Module

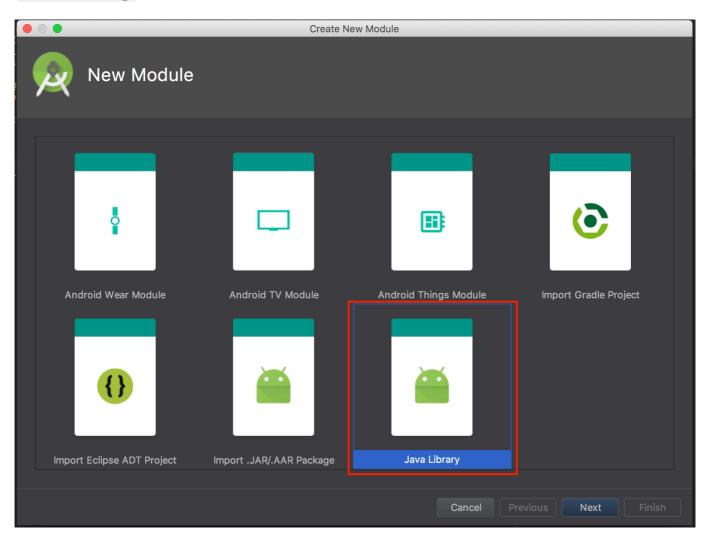


または

Projectルートで右クリック -> New -> Module



2. Java Library を選択

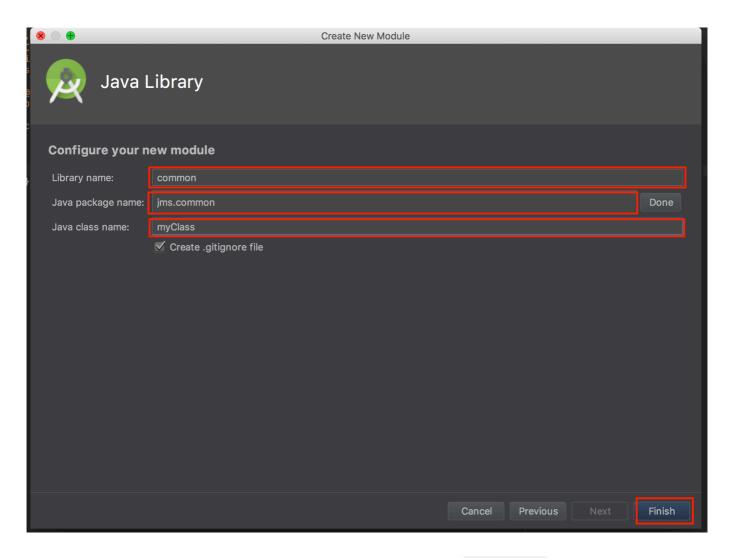


3. Module名 Library name

パッケージ名 Java package name

Class名 Java class name

を入力し、Finish



4. Java Library Moduleが作成され、Gradleの同期を求められるので Sync Now で同期を行う。

kotlinを使用する場合には

作成したjava libraryのbuild.gradleに

```
dependencies {
    implementation fileTree(dir: 'libs', include: ['*.jar'])

/**

* Kotlinを使用するため

* kotlin standard libraryを導入する。

*/

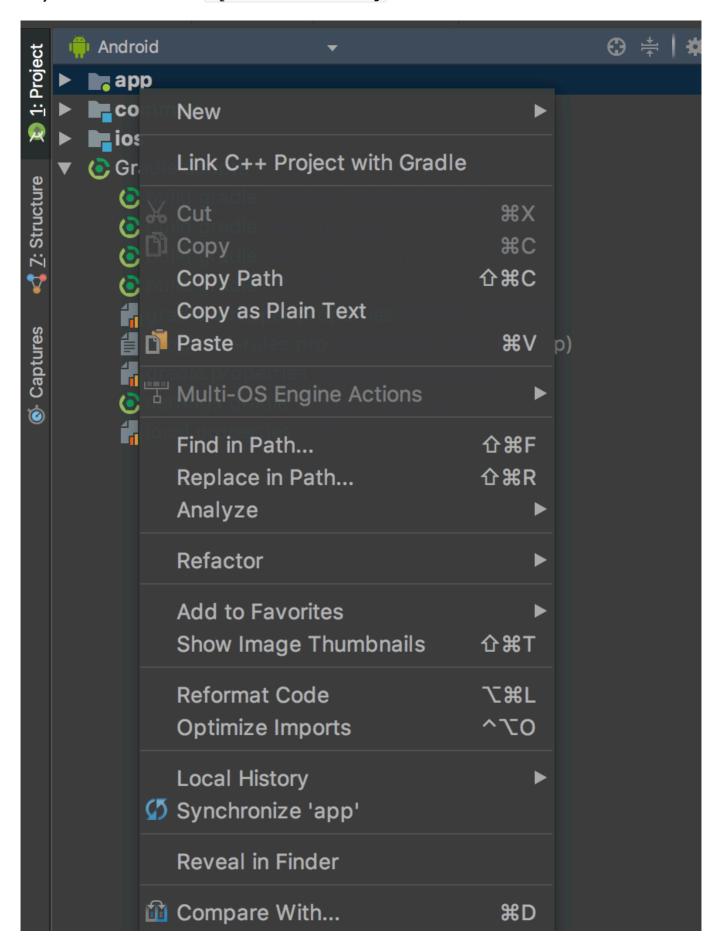
// kotlin libraryの最新バージョン
ext.kotlin_version = '1.2.10'
implementation"org.jetbrains.kotlin:kotlin-stdlib-jre7:$kotlin_version

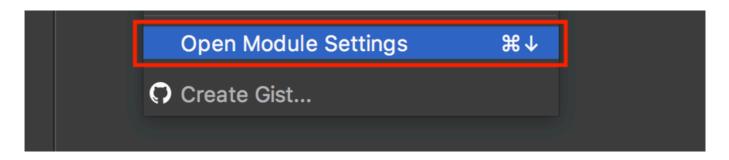
"
```

を記述し、同期する。

5. Moduleをアプリに追加する。

Projectルートで右クリック Open Module Setting を選択

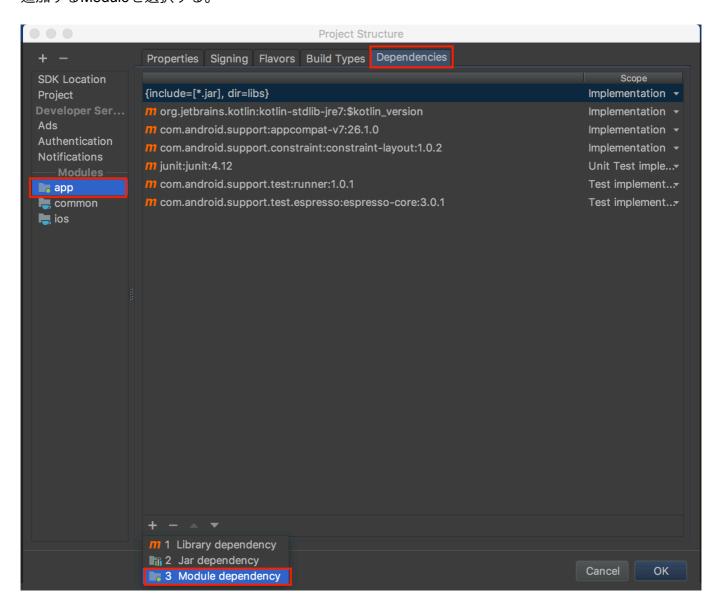


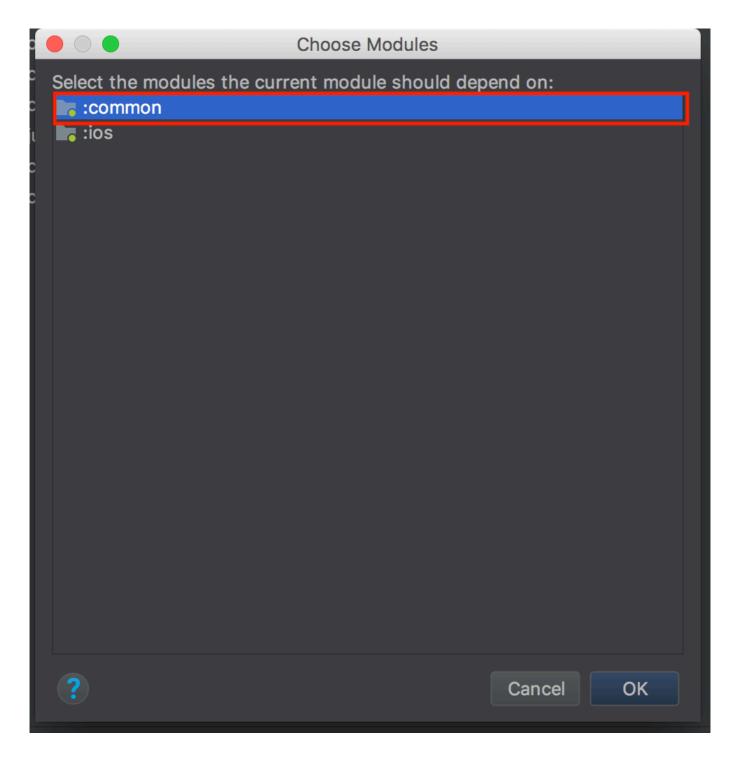


6. 追加したいアプリのModuleを選択し、 Dependancies タブを選択

左下の + ボタンより 3 Module dependency を選択し

追加するModuleを選択する。





7. 以上でAndroidStudioのProjectの作成方法は終了です。

終わりに

• 本社1号棟1階のプリンタの下に野口個人所有のAndroid開発参考書があるので合わせてご確認ください。